

令和6年8月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和6年8月27日（火）午後2時00分開会
午後3時50分閉会
三田市役所 南分館 601会議室

○議事日程

日程第1 開会
日程第2 前回会議録の報告、承認
日程第3 会議録署名委員指名
日程第4 会期の決定
日程第5 教育長の報告
日程第6 議事 議案第33号から第35号
日程第7 報告事項 報告第24号から第25号
日程第8 その他

○会議に出席した委員（5名）

1番	鹿嶽昌功	2番	大野裕己
3番	中野文雄	4番	三木尚美
5番	ルーベッシュ裕子		

○説明のため出席した者（10名）

学校教育部長	浅野晋司	学校教育部担当部長	外岡明文
教育総務課長	井上尚博	学校再編課長	上野樹
教育総務課担当課長	久保修一	学校教育課長	田中仁朗
教育支援課長	市原敦	教育研修所長	出藏裕昭
学校給食課長	小東敏郎		

三田市立特別支援学校高等部教科用図書選定委員会
委員長 山口貴久

○代表学校長（2名）

中学校校長会代表	鯉ノ内 克枝
小学校校長会代表（代理）	山口 茂樹

○会議に関係した事務局員（2名）

教育総務課 石野寛人
清家梨奈子

○会議録署名委員

教 育 長 鹿 嶽 昌 功

教 育 委 員 ルーベッシュ裕子

日程第1 開 会

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ただいまから令和6年8月第309回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

(令和6年7月29日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ご質問等ございませんでしょうか。
なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、会議録署名委員指名に移ります。
会議録署名委員は、5番 ルーベッシュ裕子 委員にお願いします。

日程第4 会 期 の 決 定

○教育長
(鹿嶽 昌功)

会期は本日一日、令和6年8月27日火曜日午後2時00分開会といたします。

日程第5 教 育 長 の 報 告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

8月も最終週となり、明日から2学期が始まります。約40日間の夏休みが明けて、子どもたちの学校生活が始まります

が、楽しみにしている子どもたちばかりではなく、気持ちの重い子どもたちもいるので、子どもたち一人一人を見つめていただき、ゆっくりと2学期をスタートさせていただきたいと思えます。現在、台風10号が近づいており心配しています。ある程度影響があると思えますが、被害の出ないことを祈っています。

それでは、この1か月間の私の活動について報告させていただきます。

1) 令和6年度阪神7市1町教育委員会連合会総会及び研修会(7/30)

7月30日午後、本年度の阪神7市1町教育委員会連合会の総会と、研修会が宝塚市で開催されました。総会では、事業報告と決算、事業計画と予算が承認され、その後、不登校の子どもたちとその保護者を支援している民間団体「トーキョーコーヒー」の石井さんの講演を聞かせていただきました。不登校対策は各市町でも大きな課題であり、当事者である保護者の皆さん等を交えたグループワークは、市町の取組と当事者の思い等をお聞かせいただいた有意義な時間でした。

2) 令和6年度阪神地区教育長会議(7/31)

7月31日、西宮の阪神教育事務所で、藤原教育長他、県教育委員会の皆さんと阪神7市1町の教育長が意見交換を行う教育長会議が開催されました。議題は、不登校対策と部活動地域移行、働き方改革の3点でした。不登校対策では県のサポートルームへの支援スタッフ配置の事業を活用した取組などの報告、部活動地域移行については令和8年度を目途として平日も含めた地域移行を考えているところもあり、阪神間では方法はさまざまですが、目標をもって学校部活動そのものを見直すという状況でした。働き方改革は、時間が足りず県からの支援の報告のみでしたが、県にも次年度施策について要望しております。

3) 阪神地区生活科・総合的な学習実践交流会(8/7)

8月7日、今年の阪神地区生活科・総合的な学習の実践交流会が、三田市が当番市となり、まちづくり協働センターのホールで開催されました。生活科では宝塚市立長尾小学校での「いろんな種」について、総合的な学習では、川西市立陽明小学校の「地域のさくら」についての発表があり、探求学習の実践についてそれぞれの小学校での取組を聞かせていただ

きました。

4) 9月定例会市議会の開会(8/20)

8月20日、9月定例会市議会の初日でした。今年は9月に市議会議員選挙があるため、少し早い開会となりました。教育委員会からは、いじめ防止対策等に係る「三田市生徒指導等事案調査委員会」の附属機関設置条例案と、給食搬送車購入に係る債務負担行為予算設定の予算案件を提案しています。8月22日の予算決算常任委員会福祉教育分科会と、福祉教育常任委員会で説明しました。一般質問につきましては、9月4日から3日間の本会議で答弁していきます。その内容については、次回の定例会で報告いたします。

5) 全県夏季教育委員会研修会(8/22・8/23)

県教育委員会連合会による夏季研修が例年通り、ホテル北野プラザ六甲荘で開催されました。各教育委員の皆さんにも2日間に分けてご参加いただきましたが、22日については、私は市議会常任委員会がありましたので欠席させていただき、23日の午前の研修に参加しました。中央教育審議会の委員でもある埼玉県戸田市の戸ヶ崎教育長から、教育委員会を中心とした教育改革の取組について、戸田市の実践を中心にお話いただきました。定例会の協議内容、首長との関係、また教職員の働き方改革など大変参考になるお話でした。今後の取組に反映できればと思っています。私からの報告は以上です。

日程第6 議 事

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは議事に入ります。

(1) 教育に関する事務の管理及び執行の状況を点検し、及び評価することについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第13号】

議案第33号「令和6年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

議案第33号「令和6年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。

○教育委員
(大野 裕己)

点検・評価委員の方には丁寧に見ていただいて、取組の進捗や課題についても、わかりやすくまとめていただいたと思います。その中で、報告書9ページにあります「今住んでいる地域の行事に参加している」と答える子どもの割合の実績値を見ますと、指標の根拠が全国学力・学習状況調査なので当該学年の回答の影響を受けての結果となるものとは思いますが、小学校と中学校共に目標値と開きがあり、達成状況でも積極的でない評価になっています。一方で、地域と連携して取り組むところが大きいトライやる・ウィーク等は、達成状況も○がついており丁寧に取り組まれているとの評価となっています。教育委員会事務局では、この結果の状況をどのように考えていますか。

○教育研修所長
(出藏 裕昭)

全国学力・学習状況調査が年度の初めにあり、子どもたちは前年度までの経験で回答しているところもあります。特に、令和4年度はコロナ禍の影響で地域行事が減少していた状況もありますが、それだけが原因とは考えておりません。小学校では環境体験事業等もありますので、子どもたちが地域へ目を向けていけるように今後も検討していきたいと思えます。

○教育委員
(大野 裕己)

ありがとうございます。
関連する事業ではコミュニティ・スクール等も含め概ね順調に進んでいることがうかがえます。地域と学校・子どもたちとの関係が成熟することが一番大事だと思います。強要することではありませぬので、これらに関わる取組・活動が進んでいく中で子どもたちが地域に興味関心を持ってくれることを共有の目標として、今後も進めていただけたらと思えます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

第3期教育振興基本計画を策定する際にも、数値目標を設定するにあたり、全国学力・学習状況調査の結果を基にしていますが、毎年、小学6年生と中学3年生の結果を見ています

ので、対象の学年の経過を追った結果ではなく、その年度ごと学年の状況や雰囲気に応じた結果となります。計画を策定する上では、数値目標として使いにくいものではあると感じています。来年から、第4期教育振興基本計画を作るにあたって、数値目標をどのように設定するか検討が必要だと思えます。

○教育委員
(大野 裕己)

指標等の設定については、おっしゃるように第4期教育振興基本計画を策定される時にあらためてご検討いただけたらと思います。例えば、学校の先生方の努力により取組の進捗の改善が図られているところと、子どもたちに定着しているところが明瞭に見えていく点検の論理構成とできると、先生方も努力の成果が点検・評価においてよりはっきりと分かるので、そのような報告書にしていただけると良いと思います。現行の点検・評価でも、そのあたり少し混沌としたところがあるように思えますので、誰が見てもわかりやすさを大切に改善を続けていただけたらと思います。

○教育委員
(中野 文雄)

点検・評価委員の方には丁寧に見ていただいていると思います。たとえば、メタバースの進捗状況や、不登校の課題に向けた取組について成果はどうなっているのか、表に見えてこない部分を数値等で評価していただいたと思いますが、年1回の点検・評価だけでなく日頃から情報発信していくことが大事だと思います。「今住んでいる地域の行事に参加している」と答える子どもの割合については、これ自体を目標として掲げるのは難しいと思います。地域によって違いがありますし、地域行事を支える地域の方も減少していく中で、地域行事が子どもたちに平等に与えられているとは思えませんので、項目自体を見直さなければいけないと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご質問等ございますか。

○教育委員
(ルーベッシュ裕子)

地域の情報やイベント等に気づいてあげられるのは保護者だと思います。自治会に入らなかつたり脱退したりすると、地域の情報が入らない可能性があります。先ほどのお話にもあ

りましたが、やはり情報発信の重要性も感じます。それと同時に、保護者が地域とどのように関わっているのかを子どもに見せることも大事だと思いました。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

今期の教育振興基本計画の中にある、子どもたちの学びを周りの教員や地域や保護者達がどのように支えるのかという点について、子どもが主体ではありますが、その周りの大人が子どもたちへどれだけ情報を与えられるかで大きく変わってくると思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見等ございますか。

○教育委員
(三木 尚美)

8ページの「いじめを受けたり、嫌なことがあったりした時相談しない」と答える子どもの割合が改善されていない点は気になります。子ども自身が、そもそもいじめとは何かをきちんと理解しているのかわかりませんので、アンケートの質問内容をもっと細かくわかりやすいものにして、子どもが内容をしっかり理解した上で回答できるようにした方が良いと思います。

○学校教育課長
(田中 仁朗)

「いじめを受けたり、嫌なことがあったりした時相談しない」と答える子どもの割合については、昨年度から課題になっています。今年度から改善を図っているところですので、生徒指導等問題対策委員会にも諮った上で、子どもたちの気持ちや意見を言いやすい質問に変えていきたいと思っています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

報告書67ページのNo. 62「学校評価を活用した教育活動の改善推進」の中にあります市立幼稚園芝生園庭開放実施状況について、PDCAサイクルに基づく学校評価のための経年経過が数値化されたものですが、芝生の園庭開放実施回数が計画に対する取組内容とは繋がりにくいと思います。現段階では案ですので、削除することは可能ですがいかがでしょうか。

○教育委員
(中野 文雄)

確かに教育振興基本計画とは合っていないように思います。
削除が良いと思います。

○教育委員
(大野 裕己)

わざわざ数値化する必要もないと思います。同じく削除で良いと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
それではこの項目は削除します。
他に何かご意見等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

委員の皆さんに丁寧に評価していただいたものが報告書としてまとめてありますので、この報告書をどのように学校現場で、また、教育委員会事務局として活用していくのかが大事だと思います。数字や○×で客観的に評価できたとしても、それを今後どのように施策に反映させるのか、評価内容の報告を受けたうえでの教育委員会としての姿勢を、評価委員の皆さんへ示していかなければならないと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見等ございますか。
なければ先ほどの削除項目も含め修正し、点検・評価報告書をまとめていきます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

(2) 附属機関の委員その他法令に基づく各種委員を委嘱し、又は任命することについて
【三田市教育委員会事務委任規則第1条第14号】
議案第34号「三田市学校給食運営協議会委員の委嘱について」事務局から説明をお願いします。

○学校給食課長
(小東 敏郎)

議案第34号「三田市学校給食運営協議会委員の委嘱について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように承認します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

(3)教科用図書の採択を行うことについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第15号関係】

議案第35号「令和7年度使用三田市立特別支援学校高等部教科用図書の採択について」事務局から説明をお願いいたします。

○教育研修所長
(出藏 裕昭)

議案第35号「令和7年度使用三田市立特別支援学校高等部教科用図書の採択について」事務局から説明

○三田市立特別支援学校高等部教科用図書選定委員会委員長
(山口 貴久)

「令和7年度使用三田市立特別支援学校高等部教科用図書の採択について」三田市立特別支援学校高等部教科用図書選定委員会の経過等を資料により概要説明

「令和7年度使用三田市立特別支援学校高等部教科用図書の採択に関する申請書」【学校教育法附則第9条の規定による教科書】について、内容説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問、ご意見等ございますか。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

偕成社の「だんまりこおろぎ」は、内容も大変面白く、最後のページでは音が出る仕組みになっていて良かったと思います。教科書自体が小さな本なので文字が小さいと感じましたが、子どもたちが文字を読むことはありますか。

○三田市立特別支援学校高等部教科用図書選定委員会委員長
(山口 貴久)

子どもたちの実態によりますが、ひまわり特別支援学校高等部の子どもたちは、字を読むことが難しいので教員が読み聞かせて学習を進めています。絵も小さいので、タブレットで見せながら、子どもたち自身がページをめくるのに画面をタッチしたりしています。

○教育委員
(中野 文雄)

「だんまりこおろぎ」の特徴として、音の楽しさが伝わってくるので、子どもたちが五感を使って感覚的に学習を進めて

いけると思います。目や体の動き、ほんの少しの反応で意志をはっきり伝えることが大事になりますので、五感を刺激する教科書は重度障害のお子さんにも十分対応できる教科書だと思います。また、生活の中で大切な人とのつながりが詰まった内容だと思いました。「でんぐりごろりん」は、ユーモア溢れる教科書だと思います。集まったり散ったりする動きが、平面の教科書でも立体的に見える工夫がされているのは良いと思います。ごろりんというような言葉のリズムも重度障害のお子さんの学習では大事にされていますので、そういう点も意識して調査研究していただけたと思います。

○教育委員
(大野 裕己)

調査の観点を踏まえて、子どもの実態に応じた教科書を選んでいただいたと思います。今回の教科書とは別に、調査研究を行った図書はありますか。

○三田市立特別支援学校高等部教科用図書選定委員会委員長
(山口 貴久)

今回は、選定した2冊の他に、3冊の本について調査研究を行いました。その中の1冊は「すみっこのかくれんぼ」です。「すみっこのかくれんぼ」は昨年選定した「おくのおくシリーズ」のシリーズ本ですが、今までのシリーズ本と内容が異なり、子どもたちにとって理解しにくいことが予想されるため、今回は選定しておりません。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご意見等ございますか。

○教育委員
(三木 尚美)

とても楽しい本を選んでいただいていると思います。高等部のお子さんですので、卒業後のことを意識して学んでいくと思いますが、卒業後の生活に生かさせるようなことを踏まえて選定されているのでしょうか。

○三田市立特別支援学校高等部教科用図書選定委員会委員長
(山口 貴久)

高等部は学校から社会へ出ていく最終段階となりますので、いかに社会に出てから力をつけるかを意識した観点は、とても大事だと思います。今回、この2冊を選んだ理由としまして、コミュニケーションの部分に重点を置いている点です。面白いという表現や、次のページをめくりたいという思いを

何かの形で周りに伝えていくことができるのではないかと思える教科書だと考えて選びました。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他に何かご質問等ございますか。

○教育委員
(ルーベッシュ裕子)

高等部なので義務教育ではないと思いますが、教科書代の保護者の負担はどのようになっていますか。

○三田市立特別支援学校高等部教科用図書選定委員会委員長
(山口 貴久)

高等部は義務教育ではありませんので、原則、教科書代は保護者負担になりますが、特別支援教育就学奨励事業という県からの補助を活用しておりますので、実質の保護者負担はありません。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご質問等ございますか。
ないようでしたら昨年度の359冊に新規14冊を足して、そこから削除8冊分を差し引いた、合計365冊を採択するというところでよろしいですか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは申請書どおり採択させていただきます。

日程第7 報 告 事 項

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして報告事項に移ります。
報告第24号「学校給食の異物混入にかかる状況報告について(令和6年度1学期分)」事務局より説明をお願いします。

○学校給食課長
(小東 敏郎)

報告第24号「学校給食の異物混入にかかる状況報告について(令和6年度1学期分)」事務局より説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように報告します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

報告第25号「9月教育委員会開催行事予定について」事務局より説明をお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

報告第25号「9月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように進めてまいりますので、9月もよろしく
お願いします。

日程第8 その他 の 報 告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、次回、9月の教育委員会定例会の日程について事務局
からお願いいたします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

9月教育委員会定例会の開催日時は令和6年9月26日(木)
午後2時00分から、南分館601会議室で予定しております。
よろしくお願いいたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、各校長からの報告です。本日は、小学校代表校長
が欠席のため、代理の山口校長に報告いただきます。まず中
学校代表校長より報告をお願いいたします。

○中学校校長代表
(鯉ノ内 克枝)

○部活動について
運動部の3年生にとって最後の中学校体育連盟の総合体育大
会が、6月の中旬から始まり8月中旬の全国大会までを終え
たところです。今年度も昨年に続き猛暑の中での練習や大会
運営や参加となり、熱中症対策に万全を尽くすなど細心の注
意を払うこととなりました。大会当日は保護者の皆様や後輩

部員からの温かな声援を力に変え、生徒たちはいつもの練習以上に力を発揮することができ、どの部活動の生徒もあきらめず最後まで全力を尽くす姿がとても素晴らしく感動を呼ぶ大会となりました。市内中学校の結果をご報告します。県大会では、男子バスケットボールが3位。陸上競技では、男子100m：優勝、男子4×100mR：第3位。女子共通走幅跳：第2位など。近畿大会では、陸上大会に、男子100m、男子4×100mR、女子円盤投げで出場し善戦しました。女子共通走幅跳では第3位を記録しました。全国大会には陸上競技で、男子100m、男子200m、男子1500m、女子共通走幅跳で出場しました。また、学校外のクラブで活動する、水泳、卓球、体操、空手（型）などでも県大会や近畿大会、全国大会に出場し、多くの中学生が活躍する姿が見られました。各校吹奏楽部は、7月末の吹奏楽コンクール西阪神地区大会に出場し、それぞれが素晴らしい演奏を披露し、多くの学校が金賞を受賞し、県大会へと進みました。多くの方のご支援のお陰を持ちまして、現在、運動部では新チームが始動し、1・2年生を中心に新しいリーダーのもと、熱中症を警戒しながらも秋の新人大会をめざして努力しています。また、3年生が引退した後、市内では合同での部活動を開始しました。男子バスケットボール部でゆりのき台と藍が、サッカー部では長坂とけやき台、富士と狭間、ゆりのき台と藍のそれぞれが、陸上競技部が狭間と富士で、剣道部が狭間と富士で、女子バレーボール部が上野台と八景で、軟式野球部では狭間と藍と富士が、女子ソフトボール部では八景とゆりのき台が合同部活動として一緒に練習を始め、大会参加に向けて連携を深めています。合同部活動の開始前には合同で保護者説明会を開き、理解を得て新チームとしての活動をスタートしています。

○夏季休業前から夏季休業中の学校の様子について

夏休み前には三者懇談会を持ち、夏休みの学習や進路、夏休みの過ごし方についてもご家庭と確認しました。各学校では長い休みを前に、薬物乱用防止などの防犯教室や、情報モラル教室で犯罪に巻き込まれないようにすることや、スマートフォンの使い方を考える機会を持ち、生徒が安全に長期の休みを過ごすことができるよう取り組みました。1学期末の職員会議で総括を行い、各学年、各担任において、1学期の指導を振り返り、成果と課題を明らかにしました。

夏休み中には、学習会（補充学習）や水泳指導の補習、部活

動等においては、気になる生徒の観察や声かけや学習支援などを行いました。3年生は、進路を実現するために学習に励み、自分に適した学校選択を行うため、公立・私立や専門学校等さまざまな学校のオープンスクールに参加しています。また、多くの学校では地域のお祭り等に生徒会や吹奏楽部などが協力活動しました。

教職員は部活動指導や学習相談、全国学力・学習状況調査の分析など様々な活動に励みながら、市内各教科部会での研修会や、各学校で行われる様々な研修会（学習指導・生徒指導・教育相談・人権教育・救急救命法・ICT活用・メンタルヘルス研修など）、また自主的な研修会への参加も含め研鑽に努め、長期休業を資質向上の良い機会としてとらえ活動しました。その中で各学校の研修会はできる限り短期間に集約し、計画的に代休の消化、特休や年休を取得し、リフレッシュできるよう工夫しながら、忙しい日々が続くと予想される2学期を健康に乗り切れるように万全な準備をしています。2学期が始まるとすぐに体育大会を予定している学校もあります。今年度は熱中症の心配もあるため10月に体育大会を開催する学校が増え、次年度はすべての学校が9月末から10月に体育大会を行うこととしています。2学期にも全職員が力を合わせて教育活動に邁進いたしますので、今後ともご理解ご支援いただきますように、よろしくお願いいたします。

○小学校校長代表 代理(山口 茂樹)

○記録的猛暑

連日「熱中症警戒アラート」が発表されるなど「猛暑」が続いた夏休みが終わろうとしています。以前は、夏の暑さの中でも安心して楽しむことができていた運動や活動が、命の危険までも伴うようなものとなり、気候変動の脅威を感じずにはいられません。1学期末にも、水泳をはじめとした屋外での教育活動、休み時間の外遊びなどを取りやめる日がしばしばありました。教育活動にも影響を与える暑さは、学校教育においても大きな課題となっていることを実感しています。

○夏季休業中について

8月28日より2学期が始まります。さまざまな夏の思い出を抱えて、登校してきてくれることを楽しみにしています。始業式の日のにぎやかな教室の様子が目に浮かぶようです。夏季休業期間中の各校では、人権教育や特別支援教育、生徒

指導や研究推進、学力向上等、学校運営の核となるさまざまな内容について校内研修会を実施しました。また、教育研修所で開催された「授業づくり講座」や「iPad活用講座」などにおいても、多くの教員が学ばせていただきました。管理職においては、不登校対策とサポートルームへ登校している児童への指導充実に向け、川西小学校へ行き、他市の取組について研修を行うと共に、意見交換を行いました。また小学校教頭会は人権教育を推進していくために、改定された三田市在住外国人教育基本方針について、増野指導主事を講師に迎え、研修を実施しました。また、三輪小学校では大規模な改修が行われました。その他多くの学校で法面の除草、さまざまな点検、そして、これまでは行われていなかった業者によるトイレ清掃を行っていただいております。子どもたちの学びの環境整備に努めていただいておりますことに感謝申し上げます。

○2学期学校行事について

2学期からの行事につきましては、9月に自然学校や修学旅行、校外学習を予定している学校が多くあります。また、5校が9月下旬と10月に運動会を実施します。自然学校は、1学期に続き、多くの学校で4泊5日実施する予定です。新型コロナウイルス感染症が5類となっていますが、感染状況については、少々不安な面もあります。子どもたちの心に残る修学旅行、自然学校にできるよう各校で工夫を凝らしながら実施していきたいと思えます。また、まだまだ厳しい暑さが続きますので、熱中症対策に最大限の配慮を行ってまいります。秋には、音楽会、研究発表会などの行事が控えています。教育委員のみなさまにも、ぜひ子どもたちや教員のがんばっている姿を参観いただけましたら嬉しく思います。2学期もどうぞよろしく願いいたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは以上をもちまして教育委員会定例会を閉会いたします。